

# ICT を活用した家畜管理システムの開発

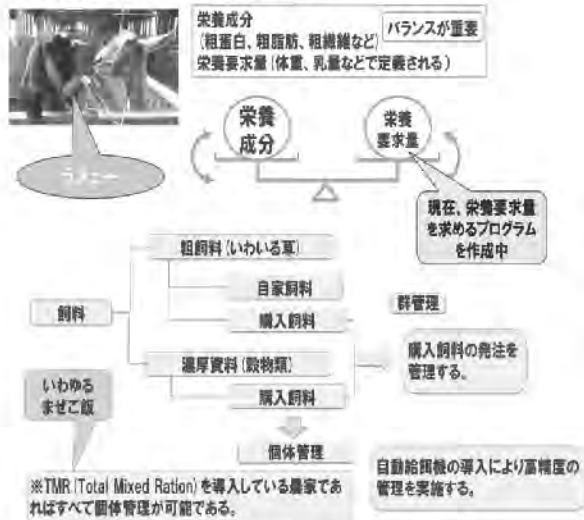
琉球大学工学部情報工学科  
Pinza Cloud プロジェクトチーム

【研究目的】 BSE や口蹄疫などの家畜感染症の発生などにより、家畜のトレーサビリティシステムが相次いで構築された。しかし、アジア地域に目を向けると地域の特性に適合したシステムの構築が求められている。また、トレーサビリティシステムと生産者の支援を行う情報管理システムの統合は未だに不十分である。そこで我々は、山羊をモデル家畜として家畜生産に関係する種々の情報を自動で収集し、それを活用するシステムの開発を実施している。今回は、ICT を活用した畜産分野における生産者支援とトレーサビリティを実現するクラウドシステムの開発を目的に琉球大学と中心としたコンソーシアムによって実施されている PINZA Cloud プロジェクトの概要について紹介を行います。

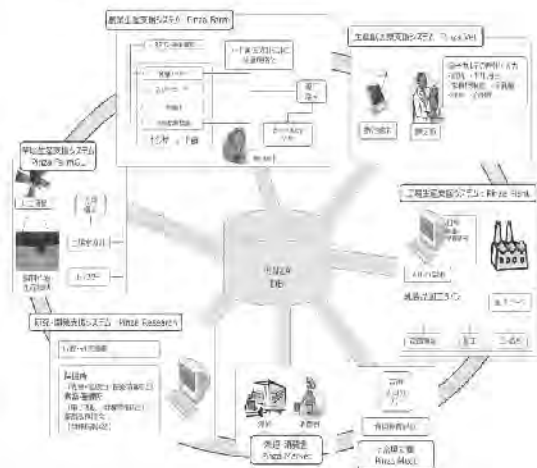
【Pinza Cloud プロジェクトとは】 プロジェクトのコードネームである PINZA は「Perfect Information Management system for Zoologically Analyze」の頭文字を取り、プロジェクトの目標を表現している。また「ピンザ」は沖縄の中でも山羊の飼育、食文化が盛んな地域のひとつである宮古島地方における方言で山羊を意味する言葉でもあります。

## 【システムの概要】

### 栄養管理システム PinzaNutrition



### 山羊生産支援システム PinzaCloud



本研究は総務省戦略的情報通信研究開発推進制度(SCOPE)の支援を受けて実施されています。

【問い合わせ先】 琉球大学工学部情報工学科玉城史朗研究室

電話：098-895-8720 teppei@neo.ie.uryukyu.ac.jp 担当：平田哲兵

# モーションキャプチャを体験しよう！

## 琉球大学情報工学科学生実験成果紹介

琉球大学情報工学科のブースでは、学科カリキュラムにおいて実施している「情報工学実験」（3年次受講）の成果物を展示しています。

### モーションキャプチャって何？

人物や物体の姿勢や動きを計測してコンピュータに入力する技術です。入力された情報は、スポーツ、医療分野において人の動きの分析への利用や、コンピュータグラフィックスのキャラクタにリアルな動きをつけるために利用されます。

これまでは、非常に高価な機械が必要だったので業務用途にのみ利用されていましたが、ゲーム機用に安価なセンサが発売されてからエンタテインメントなど様々な分野に応用されるようになりました。ブースでは、モーションキャプチャによる直感的な操作と AR(拡張現実感)による直感的な表示を組み合わせたインタラクティブコンテンツ(操作可能な映像表現)をデモンストレーションします。

### ひとりエグザ〇ル

稲福政樹, 花城涼太, 松田昇悟



#### 概要説明：

Kinectを使い、CGのキャラクタがユーザのモノマネをするコンテンツを作りました。某アーティストのダンスを目標にしたので、これを使うことで一人でも大人数のダンスグループの気持ちを味わうことができます。

### 15SlidePuzzle

新垣隆伍, 新屋孝明, 山田義貴



#### 概要説明：

AR(拡張現実感)を使用した、15ピースのスライドパズルです。ARを使用することで、あたかも目の前に15スライドパズルがあるかのように見せ、コントローラを使わずに15スライドパズルに触れて操作しているように感じるようにしました。

琉球大学情報工学科については、HPへ！ <http://ie.u-ryukyu.ac.jp>